

社会福祉法人 日野青い鳥福祉会
2024年度 法人本部 事業報告

2025/6/18

はじめに

2024年度（令和6年度）報酬改定の影響として、時間単位請求の影響、加算取得課題、支援面では利用者の障害から高齢への移行の問題、人手不足の問題など世相を反映する問題もあった。建物などハードの面も多く課題を抱えており、解決に向けて考えていく必要があった。

1、財務関連

①報酬改定による体制変更

大きな変更と結果を以下に挙げる

日野：人員配置体制加算 2：1（利用者：職員）から 1.5：1 になり、増収となった。

上田：人員配置体制加算 2：1 を体制維持のみの上田は減収となった。

GH：1) 夜間支援配置体制加算 3：1（利用者：職員）から 5：1 に大幅な減収

2) 人員配置体制加算 12：1（新規加算）

6：1 が基本の配置となり、これに人員配置加算（12：1 もしくは 30：1）が新規設定された。しかし、重度加算をとれていないので、減収となっている。

②課題

- ・利用者異動による収入増を検討

日中系は上田の収入構造を変えるために、利用者の異動を行う必要があり、日野との利用者異動を行い、人員配置体制を 1.7：1 に変更へ

- ・退所者

8月末に退所者が上田から 1名発生した。2月末にグループホームから退所者 1名。上記の人員配置体制変更と、GH への新たな利用者獲得へ

- ・高齢利用者

高齢化に伴い部分的だが介護保険適用の利用者がいるため、今後対応を考えておく必要がある。これはハードソフトの資源・財務面だけではなく、障害から高齢へ移行する際の課題を伴っており、人生の晩年を知的障害がある方たちがどのように穏やかに生活するかを考えていかななくてはならない。

2、支援関連

①利用者創作物の作品化

カレンダーの作成を行う。今年度は刺しゅう作品に焦点を当てた。パン感謝デーの日に利用者作品をポストカードにしている。これはふるさと納税の返礼品として活用できないか日野市と打ち合わせている。

②工賃

春に工賃アンケートを行った。業務給に関して時間をかけたすり合わせを行っているが、家族からは一律給や、工賃の増額の要望が根強い。法人としては、作業ごとの関わった時間単位での支払いを検討している。おしなべて 4000 円ではなく、関わったこ

とへの評価を正当に行い支払いたい。

生活介護の工賃としては高い額を支払っている。人手不足からの生産性の低下や今後見込まれる設備の更新などの転機を考えると、利用者の社会との接点を演出しつつ、経営的にもバランスが良くなるかの規模の検討をしている。

③高齢化に伴う介護併用

9月の家族会で、障害から高齢への移行の講話を日野市障害福祉課に依頼した。制度的・原則的な説明であった。八王子のGH連絡会の研修でも、核心には触れられず疑問が膨らむ。今後現場での課題を軸に考えたい。

介護認定を受けた利用者が1名おり、要支援1になっている。週に1日のデイサービス利用となっている。

④第三者評価

主な事項として、

- 1) ICT化を進め職員の業務の効率化を図る
- 2) ショートステイ（女性棟）での男性利用者を受け入れることについて
- 3) 中期計画数値目標に数値など具体性を など

3、組織関連

①親の会との連携

役員として活躍して下さっている2名の家族を軸にパイプを持ち、利用者支援・法人の考え方を通して職員を育てることに関与していただく。工賃アンケートの結果はお二方を通して各ご家族とも共有している。

②人材

GHの慢性的な人手不足は、民間の求人媒体で広告を出すも効果が薄く、夜勤者の充当が二人のみとなった。また、シルバー世代を戦力としているが、病気やケガで出勤できず、管理者系・非常勤の時間増で対応している。時給は他法人の求人に比べやや高い印象であるが、業務を見てからの辞退や場所的な通いづらさからの辞退もあった。2月にも募集をするも反応が無く不調に終わった。

65歳の再雇用を目前に職員と話し合いをしている。今後、5年以内に3名が65歳を迎え、再雇用の折は70%の賃金になる、もしくは給与水準から非常勤時給になる。因みに60歳になる職員は2名おり昇給停止となる。

③研修

サービス管理責任者更新研修 井上・宮本・池田 受講

4、プロジェクト

①2040問題

1) 新上田

建物が30年を超え、建て替え構想を思案している。土地2億・建物2億としても現状の財務状況では厳しい。市の建物を借りるなどの構想も検討。

2) 資金運用

収入確保の一手として、定期預金等に積立金を預け入れることを考え、円定期（3か月）に預け入れた。安全資産への投資を検討中。

3) 職員待遇：都最賃上昇と常勤非常勤の昇給問題

10月に都の最賃が50円上昇し1163円となった。法人の非常勤時給は1290円だったものを20円上げ1310円に。仮に50円上げるとフルタイム非常勤は8000円の上昇となり、常勤職員の4400(定期昇給)+3000(特例交付金)を超えてしまうため、20円にとどめた。今後、最賃を1500円まで上げるとのこと、新人の常勤職員の1時間単価を超えるためベースアップを含めた方策が必要だが、財源を確保しないと難しい。

4) 工賃関連・報酬改定

前述のとおり

5、外部関連

- ・5/15 三菱UFJ銀行新人研修職員受け入れ
- ・5/22 日野市手をつなぐ親の会総会参加
- ・7/24 日野市GH連絡会参加
- ・日野市障害者週間実行委員会参加…障害者週間イベント「いっしょに」12月開催
- ・8/29 日野市自立支援協議会 就労支援部会参加
- ・日野市移動支援検討会参加
- ・8/26 八王子労働基準監督署 立ち入り検査
指摘事項 雇用契約書 就業場所の変更の有無明示(2024/4~適用の法令)
時間外労働時間超過(36協定)
年次有給休暇5日取得未達
給与規定 変更事項の未届け
定期健診の医師所見なし(産業保健総合支援センター未届け)
過重労働健康障害防止(45時間以上の時間外労働)
10/11に木村社会保険労務士事務所経由で是正報告
- ・10/30 明星大学地域ニーズ講義 ファシリテーター参加
- ・12/10 七生福祉園グループホーム評定会 評定員参加
- ・2/19 明星大学吉川ゼミ学生懇談会